

2021年4月5日

開先付き異形棒鋼「NewJ-BAR」  
-設計マニュアル等改訂について-

〒107-0052  
東京都港区赤坂 2-17-50-3605  
株式会社ブレイブ  
Tel 03-6441-3065  
Fax 03-6441-3066

この度、『開先付き異形棒鋼 WSD490・WSD390 設計マニュアル（杭頭補強編）2021年4月』、『杭頭補強に関する特記』、『施工要領書』、『杭頭補強筋溶接施工検査チェックシート』において、下記のとおり一部、修正、及び追記を致しました。

記

1. 設計マニュアル

番号	改訂箇所	改訂内容	備考
1	表紙	株式会社ブレイブ東京営業所の移転に伴い、電話番号を修正しております。	
2	全編	WD25Jは製造予定がありませんので記載を削除致しました。	
3	P5 解説 5)	準拠基規準等の出版年を改定致しました。	
	P21 本文 4.2.3		
	P21 解説		
	P23 解説 2)		
	P25		
	P36、P37 P42、P43		
4	P18 図 4.4	「施工誤差吸収用の余長」の表現を「施工誤差吸収用の空き」に変更致しました。	施工誤差吸収用の空きは溶接の必要はありません。
	P19 解説 3)		
5	P20 本文 4.2.2	J-BARの均等、不均等間隔配置について考え方を明記致しました。	
	P20 解説 1)		
6	P20 解説 3)	基礎梁主筋、柱主筋、アンカーフレーム等との干渉を回避するための考え方を記載致しました。	
7	P21 本文 4.2.3	dbをRC規準に合わせて「異形棒鋼の呼び名に用いた数値」と致しました。	
8	P21 本文 4.2.3	式番号の誤りを訂正致しました。	(17.2)式、(4.6)式の番号を一部訂正
	P22 解説		
9	P23 解説 2)	フック付き投影定着長さについて、RC規準に基づいた数値に変更するとともに考え方を明記致しました。	
	P24 図 4.10		

注 記載のページ番号は改定後の設計マニュアルのページ番号となっております。

## 2. 特記仕様書

番号	改訂箇所	改訂内容	備考
1	2. 杭頭部の標準収まり		
	図	「施工誤差吸収用余長」の表現を「施工誤差吸収用空き」に変更致しました。	施工誤差吸収用空きは溶接の必要はありません。
	基礎コンクリート強度 $F_c$ に対する NewJ-BAR の直線定着	標準的な $F_c$ に対しての直線定着長の表を掲載致しました。	
2	7. NewJ-BAR の定着形式	設計マニュアルの NewJ-BAR の定着形式を記載するように致しました。	

## 3. 施工要領書

番号	改訂箇所	改訂内容	備考
1	P5	定着長の確認について記載致しました。	
	P6		
	付表 1		

## 4. 杭頭補強筋溶接施工検査チェックシート

番号	改訂箇所	改訂内容	備考
1		定着長の確認について記載致しました。	
2		リブ側溶接盛り空きについて記載致しました。	

上記資料、およびその他の改定点・詳細はホームページ(<http://www.j-bar.jp/>)をご参照ください。

以上